

JAL被解雇者労働組合（JAL争議団）

info@jhu-wing.main.jp

<https://jhu-wing.main.jp/>



11月13日、福田昭夫衆議院議員（立憲民主党）にご尽力を頂き、衆議院第一議員会館大会議室において、JAL 不当解雇撤回争議団・JAL 被解雇者労働組合（JHU）による院内報告集会が行われました。

冒頭、近村乗員団長から「止まらない連続事故・不安全事象、そしてモノ言う労働者を解雇して解決を放置している姿勢、その根っこが一緒だということを今日この集会で確認したい」と開会の挨拶がありました。国会開催中の忙しい中、党派を超えた14名の議員と8名の秘書の方に出席頂き、争議の全面解決に向け、国会内で更に奮闘下さることを表明して頂きました。争議団も一層の奮闘をする決意です。ご出席頂いた皆様に心から感謝致します。

福田昭夫衆院議員のご挨拶



JALはでたらめの経営で破綻。働く者のせいではない。経営者が責任を負うのは当たり前。大晦日に165名を解雇するとは人間として信じられない対応。人道・人権問題。そして15年も放ったらかしている。日本を代表する航空会社として失格。JHUの皆さんのお活動が多くの共感を得て、5月には支援をする「全国ネットワーク」ができた。都労委での結果も期待したい。12月の大集会に参加し、一緒に頑張る決意です。今日はお集まり下さり有難うございました。

<ご出席頂いた議員の方々>（到着順）

- 福田 昭夫 衆院議員（立民）
- ながえ孝子参院議員（無所属）
- 山岸 一生 衆院議員（立民）
- 篠田奈保子衆院議員（立民）
- 松木けんこう衆院議員（立民）
- 池田 真紀 衆院議員（立民）
- 田村 貴昭 衆院議員（共産）
- 高良さちか参院議員（無所属）
- 大石あきこ衆院議員（れいわ）
- 堀川あきこ衆院議員（共産）
- 福島みづほ参院議員（社民）
- 辰巳孝太郎衆院議員（共産）
- 酒井なつみ衆院議員（立民）
- 福田 玄 衆院議員（国民民主）

★石破 茂 衆院議員（自民党）事務所から電話で「支援するのは当然です」と激励の言葉を頂きました。

★本村伸子衆院議員（日本共産党）からは激励のメッセージを頂きました。

★ラサール石井参院議員（社民党）は秘書の方がお見えになりました。

10名の国会議員からご挨拶を頂きました。(発言の一部紹介、到着順)

篠田奈保子
衆院議員
立憲民主党



働く人の権利が守られる職場は社会の中でしっかりと安全を守っていく。労働者を守れない会社は乗客の安全も守れない。不正義をいつまでも正せない社会では人々を守れない。最後の解決まで寄り添って行きたい。

松木けんこう
衆院議員
立憲民主党



毎回JALに乗っている。安全でいて頂きたいが安全問題で心配もあります。水俣病もそうだが、みんな死ぬまで待っているのか、そういう態度はないだろう。共に闘っていきたい。何かあれば何でも言って下さい。

田村貴昭
衆院議員
日本共産党



放漫経営と異常な航空行政の中で、何の罪もない乗務員を不当解雇。裁判所が門前払いは由々しき事態。飛行機で乗務員から闘争団への応援のお札を言われる。闘いが後輩に受け継がれている。正義は必ず勝つと確信している。

高良さちか
参院議員
無所属



そもそもストレスフルな皆さんの仕事。働く者の労働環境をきちんと維持していくこと、不当解雇を放置していることは乗客の安全にも係る。労働者の安全も守っていくために共に闘っていきたい。

大石あきこ
衆院議員
れいわ新選組



公務員のサービスを維持するために労働組合で闘ってきた。国策で闘う労働組合を弾圧する資本側の攻撃を跳ね返さなければならない。労働組合に社会を変える力があると確信がある。共に頑張りましょう。

堀川あきこ
衆院議員
日本共産党



ILO勧告に従わないのはグローバル企業として失格。空の安全が担保されていないのは123便事故の反省がないから。「空の安全は労働者の権利が守られてこそ」の声に連帯して、JALと国交省に責任を求めていきたい。

福島みずほ
参院議員
社会民主党



空の安全や働く人の権利が守られていない問題、不当労働行為が行われている問題、人員削減数を隠して整理解雇、原職復帰させずに新規採用。闘う労働組合潰しの何物でもない。長年闘っている皆さんに敬意を表したい。

辰巳孝太郎
衆院議員
日本共産党



空の安全を保っているのは人だ。JALはモノ言う労働者を標的に解雇し、働く皆さんの権利をズタズタにした。空の安全を第一に考えるなら、不当解雇した皆さんを戻さなければならない。全面解決するまで共に闘って行く。

酒井なつみ
衆院議員
立憲民主党



錦糸町駅で争議団の皆さんと宣伝が重なり、JAL争議のことを知りました。解雇、リストラ、ハラスメントの対策など、厚生労働委員として役割を果たしていきたい。解雇争議の資料を拝見して、今後意見交換をさせて頂きたい。

JHU、争議団からの報告

- ①山崎書記長から、JAL争議の経過と現状報告。
- ②山口委員長から、JALの分断と差別の歴史を紹介。
- ③現役客室乗務員の渡辺副委員長（JHU）が、客室乗務員の高稼働の勤務や声を上げられず安全が守れない職場実態を報告。
- ④斎藤乗員争議団副団長が、モノの言えないパイロットの職場実態について現役パイロットからのメッセージを代読。
- ⑤鈴木客乗争議団長が、「都労委のステージを活用しながら、国会議員の皆様には国会の場で、労働団体の皆様には大衆運動を作って頂く等、多くの皆様のお力を借りし争議を勝っていく。納得いく解決まで当該も奮闘する」と述べ集会を締め括りました。



司会の林恵美さん

